

切磋琢磨



令和2年1月30日
恵那市立恵那東中学校
恵那市大井町 1073-1
TEL (0573) 25-5261

誇れる事実を創る

校長 伊藤勝彦

「誇れる事実」。この言葉は今年度恵那東中学校の多くの場面、多くの生徒や教員から語られたものです。生徒は日々の生活の中で「こうありたい」と願いをもって活動します。「こうありたい」という願いは、自分たちの目指すものであり、自分たちの成長につながるものでもあります。その活動を通して生み出される事実があります。その事実にはさまざまな価値が含まれています。「一生懸命取り組んだからできた」「仲間と協力したからできた」「～さんの働きかけによってできた」「毎日続けることができた」「前より質が高まった」など、多種多様な価値が含まれています。4月以来これらの「価値ある事実」を学級の中で、あるいは学年、全校の中で生徒たちは創り出してきています。そして、その「価値ある事実」が磨かれ、より質の高い事実になったとき、その学級や学年の「誇れる事実」となって位置付きます。今年度、これらの「誇れる事実」が各学級、学年で数多く創り出されました。第7ステージ『誇』では、その「誇れる事実」とは、自分たちの学級で言えば何なのか。学年で言えば何なのか。生徒会で言えば何なのか。それをはっきりさせ、より磨きをかけていきます。これが第7ステージの目標です。現在、各学級、学年では、その「誇れる事実」に磨きをかけて取り組んでいるところです。この取り組みの成果は2/21の「絆の日」の集会で発表されます。多くの保護者や地域の方のご参観をお待ちしています。

では、この「誇れる事実」にはどんなものがあるのでしょうか。今年度、4月以来、どの学級、学年もこだわって取り組んでいることがあります。例えば、それは「空き教室の美」です。生徒たちは、体育や美術など教室から移動して授業を受ける場合があります。生徒のいなくなった教室は、机列が美しく整えられ、机の上には何もありません。次の授業の準備や給食の準備をして移動している場合もあります。このような自分たちの生活する環境を美しく整えようとする心は生活に落ち着きを生み出し、質の高い活動が展開されます。生徒の美しい心の有り様をうかがい知ることのできる「誇れる事実」です。生徒玄関の靴箱の中の靴も同様です。東中の靴箱の中の靴はかかとがよく揃っています。これも「誇れる事実」です。東中の3本柱「挨拶・合唱・無言清掃」はどうでしょうか。合唱は12月の合唱発表会で披露した通り、生徒たちは自分たちの合唱に自信を持っています。「絆の日」の集会でも響きのある合唱が聴かれることだと思います。「無言清掃」については、生徒の意見はまちまちです。「誇れる事実」とまでは言えないのではないかと考えている生徒もいます。けれども、市川保健整美委員長は誇れるようにしたいという強い願いはもっています。少なくとも、一年間を通して安定して掃除ができるようになっていました。掃除の時間になると、昼休みでそれまで聞こえて生徒の声が校舎の中から消えます。シンデレラ拭きで黙々と掃除をする姿が校舎のあちこちで見られます。「挨拶」では、朝はもちろん、廊下などですれ違うとき、「こんにちは」と挨拶を交わし合います。東中では当たり前前の光景です。この他、今年度、授業の中にすばらしい姿が数多く見られます。前期の小林学習委員長、後期の渡辺学習委員長の二人は授業を東中の4つ目の柱にしたいという願いを持っています。現在、授業に磨きをかけようとするどの学年も取り組んでいます。これも「誇れる事実」になるのではないかと考えています。



第7ステージ『誇』では、数多くの、そして質の高い「誇れる事実」が創り出されると思います。その事実は第8ステージ『継』で継承され、令和2年度の恵那東中学校に繋がっていくことになると思います。